

## 長野市（保健福祉部）プレスリリース

令和5年10月20日

### 内閣府社会参加活動実践事例「社会参加章」に選ばれました

このたび、高齢社会における生き方の例として長野市から内閣府へ推薦しました1団体が、長寿社会を生き生きと暮らす好事例として「社会参加章」に選ばれました。

つきましては、内閣府から贈られた書状と記念の楯の伝達式を以下のとおり行います。

詳細	
1 被伝達団体	ながの男の脳喝倶楽部 様
2 日時・場所	令和5年10月31日（火）午前10時30分から 三陽老人福祉センター 2階 多目的ホール
3 伝 達	長野市高齢者活躍支援課長から
4 その他	当日取材を希望される場合は、事前に担当までご連絡をお願いいたします。

#### ※エイジレス・ライフ実践事例紹介とは

内閣府では、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送る高齢者や社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等を毎年広く紹介しています。

(内閣府ホームページ [https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age\\_list\\_all.htm](https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm))

- (1) エイジレス・ライフ実践事例（エイジレス章・個人）
- (2) 社会参加活動事例（社会参加章・グループ等）

エイジレス・ライフを実践している高齢者が中心となり地域社会活動や世代間交流といった社会参加活動を積極的に行っている団体を、都道府県等の推薦により年1回表章しています。

#### 【令和5年度各章の選考状況】

エイジレス章 全国 60 件

社会参加章 全国 42 件、長野県内で1団体（長野市）が選考されました。

#### 【被伝達団体の社会参加活動実践事例】

##### ・ながの男の脳喝倶楽部様

老人福祉センターの「生きがいつくり講座・かがやき男塾」を受講したメンバーが、“ま

だまだ出来ることがある” “もっともっとやりたいことがある” を合言葉に 2017 年 2 月に立ち上げたクラブである。「定年後の男性の地域とのつながり」を主体的に実践し「明るく楽しく面白く」をモットーに活動を展開している。地域知見や歌謡バラエティショーをはじめ、福祉施設の環境美化(清掃)活動などを実施。また、「令和元年東日本台風」では支援物資集積所でのボランティア活動も行い、地域の人々の助けになった。年間 100 回以上のイベントを企画運営するなど、積極的に社会貢献している。

---

ながのご縁を



信都・長野市

保健福祉部 高齢者活躍支援課

(課長) 北原 孝 (担当) 松島 彩々蘭

電話：直通 026-224-5029 FAX：026-224-5126

E-mail：kourei@city.nagano.lg.jp

---